

一見高い初任給 実は残業代込み?

就職四季報が内訳紹介

来春卒業予定の大学生らの就職活動が本格的に始まった。若者を使いつぶす「ブラック企業」は避けたいが、最近では残業代込みの給与を表示して高給と誤解させるような求人広告で人材を集める「求人詐欺」も取り沙汰される。就活のバイブルともいわれる「就職四季報 総合版」（東洋経済新報社）は企業選びの参考として、最新の二〇一七年版から新たに、初任給の内訳を盛り込んだ。専門家は「学生が会社を見極める手掛かりになる」と評価する。

（中沢誠）

【初任給】233,500円	【内訳】基本給210,000円
【初任給】210,000円	【内訳】基本給173,270円 職務手当2,500円 地域手当5,500円 住宅手当3,000円
【初任給】214,900円	【内訳】基本給178,300円 各種手当36,600円
【初任給】204,000円	【内訳】ランタ給144,000円 地域調整給40,000円
【初任給】197,110円	【内訳】基本給197,110円
【初任給】203,260円	【内訳】基本給67,250円 職能給94,410円 地域手当15,000円 残業手当15,000円 特別手当15,000円 他6,600円
【初任給】195,000円	【内訳】基本給195,000円
【初任給】202,000円	【内訳】基本給185,800円 群手当16,200円
【初任給】192,000円	【内訳】基本給192,000円
【初任給】210,000円	【内訳】基本給210,000円
【初任給】205,000円	【内訳】基本給195,000円 アシスタントマネージャー手当10,000円
【初任給】215,000円	【内訳】基本給175,000円 残業手当35,000円 深夜残業手当6,000円 (ライププラン制度金25,000円を控除した金額)
【初任給】202,000円	【内訳】基本給194,000円 投職時間外手当8,000円
【初任給】220,000円	【内訳】基本給220,000円
【初任給】199,500円	【内訳】基本給199,500円 一律給手当25,000円

企業の初任給の内訳を初めて記載した2017年版「就職四季報 総合版」

学生にとって、就職先を選ぶ指標として初任給は関心の高い項目の一つだが、内訳をあいまいにして求人広告を出す企業もある。目立つのが、あらかじめ一定時間分の残業代を給与に盛り込んで支払う「固定残業代」を悪用するケース。就活サイトの求人広告

などに「残業代込み」と記載しながら残業時間や金額を明示しなかったり、そもそも残業代込みの給与額であることを募集時に隠していたりする。

就職四季報はこれまでも、離職率や平均残業時間、有給休暇消化率など、企業が公表したがらないよ

「ブラック求人」後絶たず

求人をめぐるトラブルは後を絶たない。厚生労働省によると、ハローワーク取り扱い案件でも「求人票が実際の労働条件と違う」という苦情は年々、増えており、二〇一四年度は全国で一萬二千件を超えた。「求人内容より低い賃金で働かされた」など、賃金に関する苦情が多い。

ブラック企業は労働条件をごまかして募集するケースが目立つ。正確な情報が得られなければ、学生は適切な企業選びができなくなり入社後に過酷な

労働に追い込まれる可能性がある。相次ぐ求人トラブルに、厚労省も対策に乗り出した。昨年九月成立の青少年雇用促進法に基づき、給与に残業代を含めた固定残業代を導入する場合、企業は募集時に、基本給や残業時間などを明示するよう指針を定めた。今月からは、学生に求められたら離職率や月平均の残業時間などの職場情報を開示することを企業に義務付けた。ハローワークは、法令違反を繰り返す企業からの新卒求人を受け付けない。

14年度 苦情1万2000件超

労働に追い込まれる可能性がある。相次ぐ求人トラブルに、厚労省も対策に乗り出した。昨年九月成立の青少年雇用促進法に基づき、給与に残業代を含めた固定残業代を導入する場合、企業は募集時に、基本給や残業時間などを明示するよう指針を定めた。今月からは、学生に求められたら離職率や月平均の残業時間などの職場情報を開示することを企業に義務付けた。ハローワークは、法令違反を繰り返す企業からの新卒求人を受け付けない。

うなデータを掲載してきた。一七年版からは初任給の内訳も掲載。アンケートをもとに、大手を中心に七百四十五社のデータを集めた。

例えばA社【初任給】二十三万円【内訳】基本給十七万円、住宅手当一万円、残業手当五万円。B社【初任給】二十三万円【内訳】基本給二十三万円。など。初任給が同じでも、内訳で比べると違いが見えてくる。

就職四季報の森智彦編集長は「いろいろな要素で給与が構成されていることを客観的データで示せば、学生の企業を見る目も変わる。就活でも自分で知り、企業を見極める目を持つことが重要」と話す。

透明性向上の一步
若者の雇用問題に詳しい上西充子・法政大教授の話
求人の内容はあいまいな部分が多く、初任給に残業代を含んでいても学生には分かりづらかった。初任給の内訳を表示したことは学生が労働条件を把握しやすくなる点で意義は大きく、求人情報の透明性向上の一步といえる。適正な情報をもとに学生が求人内容を吟味するようになれば、まともな企業に学生が集まるだろう。そうなれば企業も社員の待遇改善を進め「ブラック企業」の淘汰(とうた)につながるのではないか。